

事業名称	
事業名	長野ろう学校改築工事
整理番号	6
事業の種類	学校建設
市町村名	長野市
箇所名(代表地番)	長野市三輪1-4-9
事業年度	平成22年度～27年度
事業概要	
目的	長野ろう学校校舎老朽化、長野地区知的障害特別支援学校過密化解消に伴う校舎・施設等の整備
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	長野ろう学校校舎(RC3F)、長野養護学校校舎(RC2F)、体育館(S1F)、寄宿舎(RC2F)、食堂(RC1F)
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(第一種住居地域) 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 都市計画法の市街化調整区域
その他	なし
環境要素	環境配慮の方針
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 集じん装置、有害物質処理装置等の設置を行い大気汚染の発生を防止する。 有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 防じんシートの設置を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。 悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。 悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。 臭気除去装置を設置する。 建築物の機密性向上、出入り口の構造の工夫、排水処理槽の被覆等により、悪臭の漏洩を防止する。
水環境	水の循環使用等により排出負荷を低減する。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 透水性舗装の導入や舗装面の削減、浸透側溝・浸透枦・芝舗装の導入等、雨水の地下浸透により水循環を保全する。 水田や地下水・湧水を保全する。 地下水を使用しない又は使用量を削減する。
地形・地質	地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。 段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。
景観	主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。 主要な眺望景観を阻害するような建築物の立地を出来るだけ避ける。 工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺の景観との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。
自然とのふれあい	不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。
文化財等	工事の進捗課程で新たに文化財等が発掘された場合は、その文化財の保護に努める。
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。 施設の建設にあたっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。 LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 建築物の断熱化に努める。
日照障害・電波障害・光害	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。 電波障害が予測される場合は、電波吸収材や反射材の使用による反射障害や遮へい障害の防止を検討する。 照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	廃棄物・建設残土	・改築等に伴い校舎等を解体する場合は、発生する建設廃棄物または建設残土を適正処理すること。	・関係法令等に則り、適正に処理します。
2	省資源・省エネルギー・温室効果ガス	・省エネルギー設備の導入等に努めること。	・LED照明等省エネルギー設備の導入に努めます。